

警報時報

日一廿
印刷所 加納活版所
印刷人 岡田弘成
発行所 警報時報社
一部金貳圓 一月金五圓
廣告料一行二十字五字五錢
日刊(日曜紙)翌日休刊

平市の燈火管制指導

二十六日に實施

各區毎に場所を指定し
理想的方法を指導

平市の燈火管制指導は、警報班員が説明に當る、講
來る二十六日夜行ふ事な演會には、縣から講師が派遣
つたが指導に先づ同日午後
六時から七時迄講演會を開
き、七時から八時迄防空恐
想普及の映畫會を第三校講
堂に開き、一般市民に對して
燈火管制の理想的方法並に
防空意識を強調、終つて八
時から指導に移る事になつ
てゐる。管制指導は屋内外
燈の警戒管制だけで各區毎
に指導箇所を指定して行ひ
置る態度をなす。

貯蓄強調

國民精神總動員貯蓄強調週
間に際し平署では二十三日
午後一時から同署會議室に
工場、カフエ、料理業、
醫務、自動車業者その他
燈の警戒管制だけで各區毎
に指導箇所を指定して行ひ
置る態度をなす。

修養と祈願の一日

平吳服商組合の公休日

鹽屋岬の 震源地調査

平吳服商組合の第二回公休
日の二十日は午前八時七十
名の店主店員が平第三小學
校に集合一時間書道を練習
し相原組合長の挨拶、篠山
第一校長の講演、店主の所
感等あり、午後は夏井村大
國神社に出征軍人の武運
長久を祈願し、午後六時が
活動寫真を見物した。尚
は六月から毎月一十錢宛
職金として出征軍人家族慰問
を行ふ事になつた。

飯島部隊の 重傷者發表

徐州附近の戦闘で名譽の重
傷を負ふた大人は二十一日
原隊から發表されたが石城
郡關係者左の如し。

鮎解禁日迫る

手具脛ひく天狗連

鮎川に躍る銀鱗

平地方の鮎の解禁は來月一
日だ、勿來町鮎川及びその
支流等幾多の豐漁場を有す
る石城郡南方部は今年も地
元を始め水戸、東京邊から
の太公望連で賑はふだらう
解禁を指折り待つ天狗連は
そろそろ釣道具の手入れや
漁況探査に無中だ。

老母を置き去りした

親不行夫婦捕はる

逃走の一步前で

植田町大字佐藤居住製板職
工松本義雄(三〇)同妻勝代
(二八)は老母あき(七三)を
去り置き去りして後轉々とし
驟で汽車待合中ヨボ
一電に限り、而して霜害の
爲め家計の半ば以上上糞糞
入によるもの春糞糞收入二分
双葉那久濱町宇田之綱農新
妻某は木炭を製造して販賣
思ひにくに九時歸館を條件
に外出。

植田國婦の活躍

町内に托兒所開設

植田町國婦會員が武運の名譽を毀損した悪徳記者
長久祈願の歸途飲酒泥酔し、膺懲のため某新聞植田支局
大騒ぎを演じた等あらぬ噂、鈴木某を今後一切相手とせ
るたてられ大迷惑をした事さる事を申し合せさせた。尙
既報の如くであるが、これは十八日から町内四ヶ所に
が善後策に關し同婦會で農繁期托兒所及び出征軍人
は役場内に幹部會を開き故宅の田植を手傳ひ銃後強化
意にデマ記事を掲載し國婦を罵る事になつた。

列車に投石

植田署で活動開始

乗客一名負傷

十九日夜九時二十四分頃勿時にふきはからぬこの觀
來驛發水戸行上り客車が同不孝者は嚴罰に處される模
町九面第二トンネル附近に
差しかつた際列車に投石
した者あり、石は三輛目の
客車の窓ガラスを破つて乗
客の茨城縣助川町日立製作
所職工某の顔面に當り負傷
同時刻頃附近鐵道電話二本
を切斷した者があるの植
田署では高萩署と協力犯人
搜索中である。

古川傳一氏 百圓寄付

植田町長古川傳一氏は亡き 長女登貴子さんの遺志とし て百圓を國防婦人會員服調 製費に寄付したので感謝さ れてゐる。

村道改修陳情

霜害對策に關しては縣農會
及び養蠶組合相携へて當局
に救済方を運動されてゐた
が其の結果縣では養蠶家が
同被害對策に製炭に従事す
るに對し炭費を構築するもの
に補助する其の條件は一世帯
一電に限り、而して霜害の
爲め家計の半ば以上上糞糞
入によるもの春糞糞收入二分
双葉那久濱町宇田之綱農新
妻某は木炭を製造して販賣
思ひにくに九時歸館を條件
に外出。

不正木炭商

四倉署で内偵
双葉那久濱町宇田之綱農新
妻某は木炭を製造して販賣
思ひにくに九時歸館を條件
に外出。

金融貯蓄兩全

湯本信無盡

【番一三一話電】場會平

四倉校生 修學旅行記

(一)

四倉尋常高等小學校では農
桑休暇を利用して尋常科六學
年全児童百餘名は東京への
修學旅行を決定したが六月
十六日午前五時半別荘立列
車を以て四倉驛を發し途中
平、水戸、土浦に停車し日
暮里を經由して原宿に下車
る。これより明治神宮に參拜
繪畫記念館を參觀し靖國神
社に至り小國民の小さき胸
に至り禮拜後遊就館、國防
館を見學して二重橋前に到
り宮城を遙拜し、天皇陛下
萬歳を三唱し皇軍の武運長
久を祈願して發足、東京日
新聞社に到り會社の好意
により輪轉機の運轉及び號
外の印刷を行ひその性能を
實際に見て茶菓の饗應をう
けて辭去、省線有樂町驛に
至り電車を利用し上野驛に
至りて旅館藤屋に旅装を解
いたが、これより先東京在
住の生徒に縁故あるものは
旅館前に搭列してこれを迎
へ引率の先生方へ感謝を捧
げ、生徒は極めて元氣で
夕食を終へて人員の点呼後
思ひにくに九時歸館を條件
に外出。

自動車が 電柱を倒す

二十日午後二時頃川前地内
踏切りを通過せんとした自
動車が傍らの鐵道專用電話
を倒壞したまゝ行衛を待ま
したので平署では目下この
運轉手を搜索中である。

以テのものとする救済策を查濟とならぬのを見越し四
畝山に此の補助額五倉町漁業家に密賣してゐた
千圓を立てられたが尙ほ一事發覺四倉署で内偵を開始
の外に町村營林道開設助成
金補助一萬圓がある、右は
霜害五割以上を被り此の應
急策に延長二キロの車道及
び廣大な森林を利用區域と
する路線の場合工費の二分
の一以内を交付する等であ
るが、石城郡永戸村では上
下永井間の村道がこれに當
てはまるので近く施行方の
選情をなす。

上遠野村二等兵上遠野一
郎、入遠野一等兵平子善
春、川部村二等兵加藤豊
治、錦村一等兵岩淵辰助
箕輪村上等兵鈴木信一、
赤井村上等兵横田三由、
植田小學校では身心鍛練と
武道精神修養のため課外と
し尋常四年以上に武道を終
得せしめ並に指導すること
なり今夏より本格的に開
始する運びとなつた。講師
は同校に現在齋藤先生(四
段)を初め三段、二段、
初段の有段者四五名の先生
が熱心指導することとなる
初て縣下小學校武道大會に
も花々しく出場し萬丈の氣
を吐く時機も期して待つべ
しであらうといはれてゐる

スピート時代に
パールネット
 健康美時代に潑刺と
 オゾン美顔術
 婦人御洋服に
パールネット
 電話 六七八 全部 四外三
 自宅 五二五 金
 平市 驛前
水野化粧院

中形の大陳列 特賣
 凡ゆる本年の中形を取揃へて御座います
 新發賣 生粹帶 宣傳大賣出し
 干草にて織つた名古屋帯・輕裝締め心地百%
 平市 三井呉服店 電 28 284

和洋銅鐵金物問屋
大金屋商店
 諸橋久太郎
 電話 九番九九番
デンキ・タイヤ 部
 電話 六三二番

平 驛前
昭和タクシー
 電話 三四〇番
 電話 三四三番

元東京市教育局學校衛生技師
 醫學博士 **岡田道一先生著**
育兒法と牛乳の用ひ方
 定價一部十錢ですが赤ちやんのあるお母様
 方に無料で差上げ度いと思ひます
 御希望の方は左記へ御申込下さい
 平市 鎌田町
岡田ミルクプラント
 配給所 湯本、綴、四倉
 電話 五一番

材料の精撰と
 味の自慢で 斷然追隨を許さぬ
藤寅のアイスキャンデー
 平市 一丁目
 電話 一四二番
 藤 寅

△看護婦數名入用
吉田眼科院
 平市紺屋町(電話六八番)

新鮮な冷凍貝焼あります
魚召すまら
ヒシマル凍魚
 鯛 マナ鯉 ノカサギ
 エビ 甘鯛 立貝
 白魚 カナ頭 貝焼
 日本産手特約番三六三二番
 卸小賣 **平製氷會社**
 長崎店 印刷局前
 四丁目五二八番

獨特の珈琲と WME
紳士の喫茶店
 グリル、パツカス
 サービス料一割(外拜替)
 平市銀座通り TEL 720
女店員募集
 △年齢 十七歳位ヨリ
 △年齢 廿五歳位マデ
 △月給 初給四拾圓以上
 △待遇 衣裳貸與金支給
 △何の氣苦勞もなく明に
 △働ける固定給料です
 △眞面目に働きたい方
 實な生活を望まれる
 は御出下さい
 懇切に御指導致します

診 夜
腸胃科
 胃腸病科
 花柳病科
 性病科
 泌尿器病科
 皮膚科
 肛門病科
門專
院醫科性胃腸村松
 (番七〇一電) 町南市平
 療 間

蓄膿症 **快鼻湯** 根切藥
 本劑は幾多の藥劑あり雖他藥の及ばざる
 良藥で、左の病症の方は一時も早く服用
 され快癒されん事を御獎勵致します
 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症
 頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
 回其他鼻骨膨出症並に中耳炎は偉大なる神効ありと賞
 讃されて居ります
 磐城 平市 一丁目
 快鼻湯製造元 **水野藥局**
 責任製劑者 藥劑師 水野 清一
 電話 六九九番

獨特の珈琲と WME
紳士の喫茶店
 グリル、パツカス
 サービス料一割(外拜替)
 平市銀座通り TEL 720
女店員募集
 △年齢 十七歳位ヨリ
 △年齢 廿五歳位マデ
 △月給 初給四拾圓以上
 △待遇 衣裳貸與金支給
 △何の氣苦勞もなく明に
 △働ける固定給料です
 △眞面目に働きたい方
 實な生活を望まれる
 は御出下さい
 懇切に御指導致します